

津山市議会議員

政岡あきひろ

議会報告

津山市の皆様には議会活動などをわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この報告紙は政務活動費で発行しています。

はじめに

津山市民の皆様、いつもお世話になっております。「政岡あきひろの議会報告」第二十一号ができました。ご覧ください。

この議会報告は、一年に四回開かれる津山市議会が閉会するたびに作成しています。また今回は、新型コロナウイルス禍を踏まえて開かれた二度の臨時議会（五月臨時議会・七月臨時議会）と、同じく新型コロナウイルス感染症対策がメインとなった六月定例議会に関する、私の活動内容についてお知らせしたいと思います。

尚、国による第一次・第二次補正予算の成立を受けて、新型コロナウイルス感染症対策を念頭に開かれた、五月臨時議会の状況については、五月臨時議会報告を作成しホームページに掲載しています。さらに、この五



月臨時議会と六月議会における私が所属する会派の活動については、「行動的政策集団・未来議会報告」を作成し、六月三十日付の津山朝日新聞に折り込ませていただきました。既に、ご覧いただいた方がたくさんおられるかと思えます。

一方、これはいつも申し上げていることですが、私の議会報告は一般的な新聞報道などでは伝えられない、津山市議会のリアルな様子や、議員としての私の活動内容に関して、できるだけ解りやすく皆様にお知らせする目的で作成しています。その



ような点に関しましても、ご理解いただければ幸いです。

ここまでの流れ

例えば、誰が今年の正月頃に、今のような状況を予想できたでしょうか。中国に端を発した新型コロナウイルス感染症は、またたく間に世界中に広がりました。我が国においても、本年四月七日には東京都・大阪府等に限って、続く四月十六日には全国に拡大されて非常事態宣言が発せられました。

これにより一定の成果がみられ、五月十四日には岡山県を含む三十九県が、五月二十四日には全国において非常事態宣言は解除されましたが、津山市においても四月二十四日以降二名の感染者が発生しました。

そのような状況下、私は津山市議会における会派「未来」のメンバーと緊密な連携を図り、情報を共有しながら新型コロナウイルスへの対応を模索していきましました。一例として、本市において発生した、感染者に対するSNS上をはじめとする誹謗中傷の防止に、各自が各々の手段で注意喚起などを図る活動を行いました。

また、国や県の動きをタイムリーに捉えて開かれる、執行部による新型コロナウイルス感染症対策会議を傍聴し、関係する執行部職員と情報交換を行いな

がら、可能な限り市民に対して正確な情報提供を行うことに努めました。そのうえで、地域の自治会関係者の皆様と連携し、各種行事の運営や実施対応に協力しました。

さらには、そのような日々の活動に注力しながら、五月臨時議会・六月定例議会・七月臨時議会への対応に取り組みました。以下、具体的な内容をお知らせします。

五月臨時議会

国による第一次補正予算成立を受けて開催された臨時議会は五月十五日に開かれ、一般会計百十五億五千五百九十二万円、特別会計六百四十八万円の補正予算案が可決されました。ここでは、我々議員の期末手当二十パーセントをカットし、新型コロナウイルス感染症対策に関連した施策実施に資する議案も全会一致で可決されました。

主な項目は、特別定額給付金給付事業（国民一人当たり十万円の特給給付金）百二億二千五百四十七万円、子育て世帯臨時特別給付金給付事業（子育て世帯一人一万円特別給付）一億三千九百五十五万円、小規模事業者緊急支援事業（大幅に売上が減少した小規模事業者対策）五億六千四百一十一万円、新型コロナウイルス感染症対策緊急雇用創出事業（アルバイト・学生支援）

▲裏面に続く

会派未来

発行 政岡あきひろ事務所
活気ある津山へ 未来志向改革!!

〒708-0014 津山市院庄 621-2
Tel. 0868-28-0501 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
URL <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>

五千万円、学校ICT環境整備事業（国の緊急対策に基づくICT環境整備）三億五千七百八十八万円、子ども子育て支援事業（児童クラブ・保育園・認定こども園他支援）一億一千七百五十四万円、公共交通感染症対策助成事業四百万円、農工商連携推進事業九百五十九万円、市外出身の美作大学・津山高専学生への就学継続支援七百万円などです（太字は、津山市独自の施策）

六月定例議会

六月定例議会では、五月二十七日に政府により閣議決定された国の第二次補正予算を踏まえ、五月臨時議会において対策が図り切れなかった項目を念頭に、津山市第二次補正予算（一般会計二億八千二百五十九万円）を中心に審議しました。主な項目は、以下の通りです。

生活困窮者自立支援事業千四十三万円、新型コロナ対策地域商品券発行事業二億円、中心市街地賑わい回遊事業八百万円、津山市Comenキャンペー



七月臨時議会

七月臨時議会では、国・県による動きを踏まえ、コロナ禍への迅速な対応を図るために第三次補正予算を審議しました。一般会計十一億八千四十五万八千円の増額補正を行い、今年度の補正後予算額は五百八十九億六千五百三十三万六千円となりました。主な項目は、以下の通りです。

地域振興費連合町内会新型コロナウイルス対策事業三千万円、諸費避難所新型コロナウイルス感染症対策事業一千二百四十七万円、老人福祉ほか施設継続・再開支援事業五千五百十六万三千元、児童福祉総務費新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業四百万円、予防費インフルエンザ予防接種費用助成事業一億九百三十万七千円、教育振興費小学校特別教室空調整備事業一億一千万円、学校管理費学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業一千六百二十万円、公民館費公民館新型コロナウイルス対策事業七百十五万円、支所及び出張所費ほか健康増進・文化活動促進事業四千九百三十



五千万円、母子・父子福祉費ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業一億五千四百二十八万八千円、農業振興費新型コロナウイルス対策認定農業者等米の計画的生産継続支援事業五百六十一万四千元、商工振興費新型コロナウイルス対策飲食店利用促進支援事業一億円、水道基本料金減免四か月分十一億八千四十五万八千円などです（太字は、津山市独自の施策）。

終わりに

今回は、新型コロナウイルス禍に対する私と津山市議会における、会派「未来」の取り組みの概要をお知らせしました。一連の議会対応に関しては、会派により入念な調査と協議を重ねたうえで、執行部の負担を軽減するため代表質問制を基本に、議会での審議に臨みました。

この他にも、議会運営に関する改革（例えば、代表質問制を

採用した場合の持ち時間は、現状では会派の人数に関わらず上限が六十分ですが、一人十五分を基準に定めているので、六人以上の会派には九十分与えられるべきである。など）にも積極的に取り組んでいます。その成果として、無党派議員が会派代表者会議を傍聴できるようになりました。

説明が遅れましたが、私達は昨年の改選時から、常に行動し津山市の未来に向けた政策提言を行う会派として、中島完一、安東伸昭、村上祐二、高橋寿治、勝浦正樹、政岡あきひろの六人で、「行動的政策集団 未来」を結成しています。

津山市民の皆様から、広くご意見をいただき、施策の立案や市政の改革に活かしていきたいと考えています。今後とも、よろしくお願いいたします。

